

## ショートコメント vol.407 (2026年6月25日)

**テーマ：急増する関西の半導体・電子部品の輸出**  
 ～世界的な AI 需要の拡大による追い風～

### ●輸出の好調な推移

このところ輸出が好調に推移している。直近数か月の動きをみると、全国、関西ともに前年比で2けた増の動きが継続中である（図表1）。

特に、関西は好調が目立っており、26年3月に過去最高の2兆2786億円で過去最高を記録した後、3か月連続で2兆円超の高水準が続いている。前年比でも直近の2か月は20%前後の増加となった。

好調の原動力は、主に半導体等電子部品を中心とした電機関連の増加であり、世界的な AI 関連製品の需要増に伴い、関連部品の輸出が増える形となっている（図表2）。

### ●急増する半導体・電子部品の輸出

関西の半導体等電子部品の輸出については、これまでも緩やかな増加トレンドがみられたが、昨年後半の2500億円前後の水準から、ここ数か月で一気に3500億円前後にまで増加した（図表3）。

これを受けて、関西の半導体等電子部品の輸出が全国に占める比率も、25年12月の41.5%から26年5月は50.7%へと大幅に上昇し、ほぼ半数を占めるに至っている。

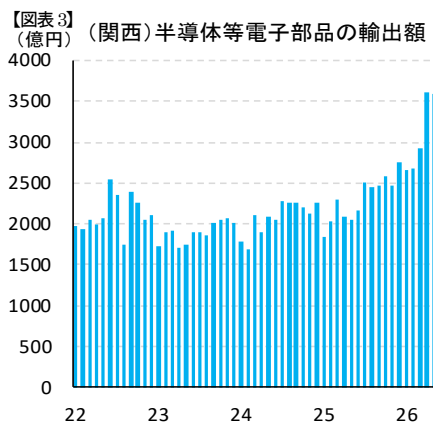
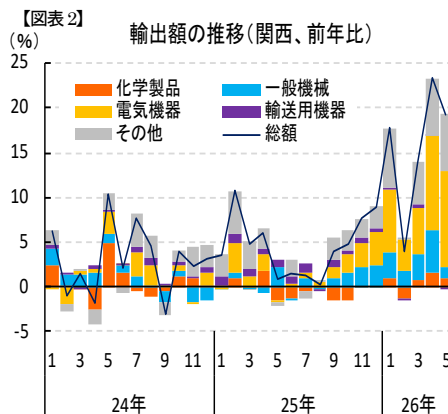
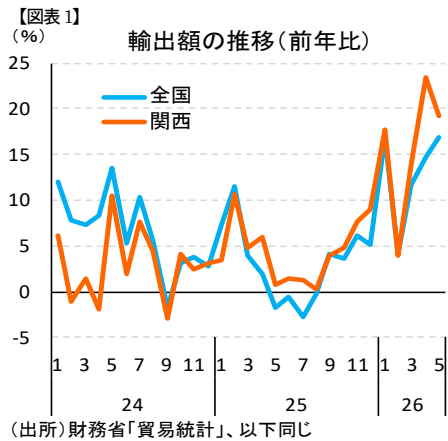
こうした動きは、世界的な AI 製品の需要増に伴う部品供給の追い風が吹く中、特に関西はその恩恵がかなり大きいことを意味する。AI の世界的な活用の動きはまだ緒に就いたばかりであり、今後は需要のさらなる拡大が期待される。

それに伴い、関西には追い風が続く形となることから、関連製品の生産の増加に加えて、新たな生産施設の増加を含む、設備投資の動きなどに期待がかかる。

### ●半導体価格の急上昇

一方、足元の半導体等電子部品の輸出増加については、認識しておくべき動きもある。数量ベースでの推移と金額ベースの推移を見た場合、直近の2か月については、数量ベースの伸びがほとんどみられない点である（次ページ・図表4）。

つまり、輸出額の増加は大半が単価の上昇によるものであり、半導体メモリー等の相場にも急上昇が確認される中、それらの影響が出た可能性が高い。

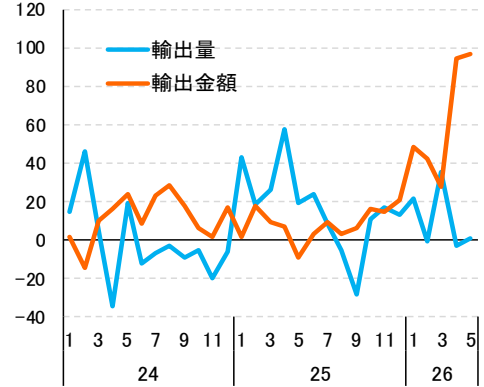


※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

足元の輸出の急増が、数量の増加によるものではないならば、その評価も少し変えざるを得ないが、半導体相場の上昇自体が、AI 需要の増加によって引き起こされたことも事実である。そうした価格の上昇もプラス効果の一環とみれば、それも一つの追い風ととらえることもできよう。

今後も世界的な AI 関連の需要拡大を受け、こうした相場の変動を含む、輸出の増加傾向の継続が予想される。高市政権による成長投資戦略では、特に AI 関連への支援に力が入っていることもあり、今後は企業による設備投資の動きにも注目が集まろう。

【図表 4】 (関西)半導体等電子部品(うちIC)の輸出



本件照会先: 大阪本社 荒木秀之  
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。